

## 令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	7. ミレニアムセンター佐倉管理運営事業
項	1. 総務管理費	中事業	
目	12. 防災対策費	担当所属	ミレニアムセンター佐倉

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額	
經常	単独	計画	0	0	20,691	実施計画	第5章 市民とともに創る 多様性のある 持続可能なまち (市民参加・自治体運営)	-
							基本施策1 コミュニティ	-
								-
							施策2 コミュニティの活動拠点の整備支援・利用促進を行います	-
								-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	956	
本年度当初査定額	950	28,129

財源内訳	使用料及び手数料	諸収入					一般財源
本年度当初要求額	920	36					△956
本年度当初査定額	920	30					27,179

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 施設の管理・運営を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期清掃、日常清掃を行います。</li> <li>・機械設備保守点検、植栽管理等を定期的に行います。</li> </ul>	<p>(事業の目的) ・利用者が快適に使用できる・市民の安全の確保と駅前 の利便性を活かした行政サービスを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供から高齢者まで幅広く利用できる過ごしやすい施設管理を 行い、防災都市づくりの一環として維持管理していきます。</li> </ul>	<p>(事業の効果) ・コミュニティ施設やサービスセンターは、駅前という 交通の利便性を活かし、市民が気軽に利用でき、くつろぎやゆとりを 感じる空間として市民サービス向上に繋がります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の中心的な防災啓発施設として、訓練や体験を通し防災意識の啓 発を図る施設として、また、佐倉地域の自主防災組織の活動拠点とし て安全安心なまちづくりに繋がります。</li> </ul>
<p>(事業実施上の問題点) 施設の老朽化及び設備の修繕費等の増大に伴う支 出の増大が見込まれますが、全体予算の縮小に伴い、保安設備を含めた 必要な修繕の実施が困難になることが想定されます。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 清掃業務委託について定期清掃の回数を年12回 から年6回に削減して要求額の削減を図りました。 また、昨年度執行残を踏まえて光熱水費の見直しを行いました。</p>	<p>(見積についての特記事項) 新型コロナウイルス感染防止対策が継続した場合 は、自動ドアや窓の開放による空調効率低下のため光熱水費の増大が見 込まれます。 また、光熱水費を含めた固定費が歳出の大半を占めるため、予算削減の 限界がきています。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	30	30	0
10	19,464	19,438	26
11	1,415	1,415	0
12	6,613	7,443	△830
13	132	132	0
17	475	0	475

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	15	01	01	01	06	00	ミレニアムセンター佐倉占用使用料	920	920	1,029	△109
	22	05	04	01	50	17	自動販売機設置電気料	36	30	30	0
差引一般財源								△956	27,179	△1,059	28,238